



羽合小学校 学校通信

平成26年12月22日 NO.83

うれしいたのしい

近年、スポーツ選手のインタビューの中には「楽しんで」試合をしたいとか「楽しみたい」といったコメントがたくさん出てきます。このことは、たくさんの努力を積み重ねて身に付けた技術や体力を使い、相手との勝負や駆け引きなど競技そのものを楽しみたいということの表現で、決してふざけたりいい加減にしたりするような楽しさを指しているのではありません。試合を楽しみたいとコメントする一流選手の試合を見れば一目瞭然です。

「好きこそものの上手なれ」という言葉がありますが、物事は好きになると上手になり、楽しくなるともっと上手になると言われます。では、物事が好きになるにはどうしたらいいのでしょうか。

今日配布されるある学級の学級通信にそうじのことが書かれていました。廊下のそうじ当番のこどもたちが、サッシの汚れをそうじするために竹串を持ってきて工夫しながらそうじしているとのこと、すばらしいですね。

12月の寒さ厳しいこの時期に、冷たい水で雑巾を洗ってひたすらそうじに取り組むことだけでもすばらしいけれど、さらに工夫しながらそうじに取り組んでいるのはなぜなのでしょう。自然発生的にできるようになった

のではないと思うのです。

①どこかにお手本があったはず

こどもたちを取り巻く人達の中にそうじに対する取り組み方や工夫の手本があったのではないのでしょうか。たぶんご家庭なのではないかと思っています。

②こどもたちが達成感や満足感を持つことができたはず

そうじに取り組む中で「できた」という満足感や「きれいにした」という達成感を感じてきたのではないのでしょうか。

③うれしいが原動力

満足感や達成感を味わったり、何よりほめられたり認められたりすると人は「うれしい」ものです。「うれしい」が次への意欲となり、さらなる工夫や努力につながります。学級担任を始め教職員や保護者の皆さんが認めて下さるからこどもたちが伸びるのだと思います。

「うれしい」ことが「好き」になり、「たのしい」と感じられるようになるとより上達する

勉強でも生活の場面でもこどもたちが「うれしい」と感じられる場面をたくさん作っていききたいものです。

【平成26年が終わります】

本日で2学期も終わり、こどもたちの冬休みが始まります。まだ3学期はありますが、年が終わり新年を迎えるにあたり、今年の自分を振り返り新たな決意をするよい時期です。こどもたちには、新しい年に「自分はこう変わっていくのだ!」と決意も新たに新学期を迎えてほしいと思います。平成27年1月7日から新学期を始めます。

羽合小学校 寺谷英則